

# 令和5年度(2023年)部署別事業報告

## 佐世保市観光の概況

令和5年は、新型コロナウイルスが一定の収束を見せ、全国的に国内外の観光客の動きが活性化した。JNTOの速報によると2023年の年間訪日外客数は、25,066千人となり、4月の水際措置撤廃以降、訪日外客数は右肩上がりで急回復を遂げ、単月では10月に初めて2019年同月比100%を超えており、年間累計では2019年比78.6%と8割程度まで回復が進んだ。

佐世保市においても、国内観光客を中心に年初から持ち直しの動きがみられ、秋・冬の閑散期においても、佐世保市独自の宿泊割引キャンペーンの効果もあり、観光客数は493万6千人(前年比114.7%、63万2千人増/2019年比84.7%、88万8千人減)となり、宿泊客数(外国人含む)においては、約171万1千人(前年比112%、約18万3千人増/2019年比92.8%、約13万3千人減)と2019年と同程度の宿泊者数となった。宿泊者数の内数の外国人は12万7千人(前年比202.7%、約6万4千人増/2019年比76.1%、約4万人減)とJNTOが発表した2019年と同程度の回復となり、現在、東京、大阪、京都などゴールデンルートに集中しているインバウンドが、アジアからのリピーターを中心に更に地方へ動くことが期待される。

コロナ禍前の水準に、完全には戻りきれておらずV字回復とまでは言えないものの、国内観光客を中心に観光の本格的な回復に向け着実に動き出した年となった。



中長期事業計画
・海風の国観光圏整備実施計画(1/5年) ・佐世保市観光アクションプラン(3/3年)
令和5年度の周年・記念
・旧佐世保鎮守府凱旋記念館建設100年 ・「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録5周年 ・「九十九島湾」世界で最も美しい湾クラブ登録5周年

決算額(千円)					
収入	補助金	236,298	支出	事業費	307,818
	負担金	1,017		管理費	11,094
	事業収益	75,177		他	0
	会費・他	6,949		合計	318,912
	合計	319,441		収支	529

KGI・KPI等(速報値)						
	KGI	主要KPI				
	観光消費額(千円)	延べ宿泊者数	来訪者満足度	再来訪意欲率	リピーター率	地域住民満足度
実績	集計中	1,711,760人	22.8%	63.4%	59.7%	未実施(R6予定)
目標	114,426,000	1,622,000人	14.0%	73.5%	60.0%	25.0%
目標比	-	105.5%	162.9%	86.3%	99.5%	-

\*R4実績は、61,046,000千円

\*7段階評価の「大変満足」の数字

重点戦略の振り返り		
1	国内交流の拡大とインバウンドの回復に向けた取り組み	国内については、前年の各種支援の反動減対策とした宿泊支援策が、コロナ収束ムードと相まって、交流拡大、加速大きな効果があった(NO.1)。また、近年、情報発信の大きな手段としてオウンドメディアを整備し、ウェブ・SNSなどオンラインによる、情報発信が主流となっており、協会職員においてもデジタルマーケティングのリテラシー向上を図りながら、国内プロモーションに取り組んだ一年となった(NO.2)。インバウンドについては、佐世保市単独だけではなく、西九州させば広域都市圏は元より、九州のインバウンドの玄関口である福岡市など北部九州の自治体と連携した情報発信や、当協会がコロナ禍から継続してセールスを行っていた台湾、香港及び新規開拓のタイなど現地の最新の情報やキーマンを観光施設へ情報共有したことで、徐々にその効果が現れてきた(NO.3)。
2	地域住民が一体となった観光地域づくりの推進	観光を手段とした地域づくりを進めるなかの課題として、同じ佐世保市でもエリアによって、これまでの地域住民の活動実績や意識の違いがあり、更には人口減少や高齢化の影響により地域力の衰退が顕著なエリアもある。当協会では、エリアによって異なる課題や状況を把握、理解しながら、下記の3つの視点で取り組みを行った。 ・観光による受益を観光従事者や地域住民へ波及する取り組み(NO.4) ・観光地域づくりの理解の醸成と地域参加を促進する取り組み(NO.5) ・住民を巻き込んだ旅行者対応の取り組み(NO.6)

	上位事業KPI		その他			
	ウェブサイトPV数	パブリシティ件数	修学旅行宿泊者数	案内所利用者数	賛助会員数	旅行事業売上(千円)
実績	2,745,000	255	83,850人	25,262人	370	91,055
目標	2,500,000	240	119,819人 ※	26,555人 ※	373 ※	91,044
目標比	109.8%	106.3%	70.0%	95.1%	99.2%	100.0%

\*ウェブサイトは、日本語版のみ

\*修学旅行宿泊者数(延べ人数)、案内所利用者数、賛助会員数の目標=令和4年度実績

\*旅行事業売上は、決算額の計上額と異なる

訪日外国人延べ宿泊者数(内=主要国)						
	インバウンド計	(台湾人)	(香港人)	(韓国人)	(タイ人)	(アメリカ人)
	実績	127,707人	27,998人	13,709人	16,507人	6,567人
目標	96,100人	24,025人	8,169人	7,208人	2,883人	33,635人
目標比	133%	117%	168%	229%	228%	121%

## 令和5年度の主な取り組み実績

NO	事業名	事業費(千円)	重点番号	取り組み概要	事業KPI			担当部署
					実績	目標	達成率	
1	【誘客拡大緊急対策事業】 宿泊予約促進クーポン事業 「じゃらんネット割引クーポン」	40,091	1	新型コロナウイルスが第5類に移行してからインバウンドが本格的に回復するまでの間、国内観光需要の掘り起こし、閑散期の宿泊需要対策として、秋期と冬期の2回に分け、OTA国内大手じゃらんnetの割引クーポンを活用し、じゃらんnet関連媒体の情報発信と組み合わせ本市への集客を図った。佐世保市旅館ホテル協同組合とも協議を行い、クーポンの割引額を、宿泊単価から2000円又は4000円引とし、クーポン利用による宿泊実績は、秋期16,415人泊、冬期16,064人泊となった。	宿泊者数(人泊)			企画課 (PR)
					32,479	20,000	162%	10頁
2	ウェブマーケティング強化事業	1,320	1	協会職員のWEBマーケティングのリテラシーを向上させ、広告宣伝における業務改善、PDCAサイクルを的確に回せることを目指し、WEBマーケティング会社からターゲット選定や広告手法の選択などの研修を受け、令和5年度のウェブ広告で実践した。協会内で内製化出来ることと広告代理店等と連携が必要な事業を整理することで、スピード感、業務効率化、宣伝効果が高まる状況が見られ、更に次年度以降、期待できる結果となった。	WEBマーケティング 研修回数			企画課 (PR)
					12	12	100%	6頁
3	西九州させば広域都市圏 インバウンド対策事業 「香港・台湾セールス&プロモーション」	9,857	1	香港・台湾の旅行業界に精通したセールスレップを起用し、現地での面談及びオンラインミーティングを行い、圏域の旅行商品造成やインセティブ旅行誘致セールスを行った。また、現地旅行メディアやKOLを活用して圏域のプロモーションを実施し、年々増加するFITに直接情報を届けることにより、圏域の認知度向上、来訪者の増加につながった(広域都市圏ウェブサイト「ドライブウェブ」香港・台湾ユーザー数:11,862人/目標6,200)。	造成旅行商品利用者数			誘致課
					919	100	919%	14頁
4	地産地消グルメ開発事業 「九十九島ひらまさ」	2,195	2	「食」による観光コンテンツの強化として、地元産の食材を活かしたメニュー開発を行い、市内飲食店等地域事業者と連携しながら観光事業への意識醸成と、市内周遊の促進を図る事業を推進した。事業は3か年計画とし、初年度の令和5年度は、「九十九島ひらまさ」を活用したメニューの開発・研究する飲食店を募集し、生産現場の視察、生産者との交流など行い素材の知識を高め、各店でメニュー開発を行った。メニューは、協会を取りまとめ、共通のロゴマークを制作し、協会公式ホームページでの特集ページの制作やポスター、動画などで情報発信を行った。	地元参加飲食店数			企画課 (地域)
					13	10	130%	2頁
5	佐世保鎮守府をフックにした プロモーション事業 「アソボサセボアートロード」	7,946	2	旧佐世保鎮守府凱旋記念館建設100周年及び1~2月の閑散期対策として、日本遺産佐世保鎮守府をテーマにした情報発信・周遊イベント「アソボサセボアートロード」を実施した。アート作品を活用した誘客施策として佐世保市や長崎県にゆかりがあるアーティストを3名起用し、市民を中心とした一般参加型のアート作品も制作し、佐世保市中心市街地を中心に作品展示を行い、フォトコンテスト、デジタルスタンプラリー等を実施した。スタンプラリー等の参加が少なかったという課題があったものの、期間中の市内外での情報発信や設置したアート作品により日本遺産佐世保鎮守府の認知がまちなかの賑わいによる満足度向上、観光客の回遊が促進された。	日本遺産関連観光施設 1~2月観光客数(人)			企画課 (PR)
					29,509	27,924	106%	7頁
6	海風の国観光マイスター事業	1,160	2	佐世保・小値賀の様々な情報と豊かな知識とおもてなしの心をもって観光客を案内できる「海風の国」観光マイスターを認定する試験を実施した。また、小学生向けに佐世保・小値賀ならではの観光資源などを、じっくりと学ぶ勉強会を実施した。平行して、コロナ収束から本格的な観光客が動きにあわせて、様々な観光マイスター合格者の得意分野に当てはまるよう、クルーズ船入港時の観光案内や有料ガイドへの道を開くガイド組織の設立、観光記事を制作するライターなど様々な活躍の場の検討を始めた。	観光マイスター試験 参加者数(「ゴールド・シルバー」)			企画課 (地域)
					38	82	46%	5頁